

令和 4年 6月 21日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：医療法人社団 水澄み会 グループホームもやいの家うのはな

施設種類：認知症対応型共同生活介護

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議の開催を中止とし、参加予定の方々へは文書により事業所活動の報告を行い、意見をいただく事とした。

文書配布：

利用者	人	知見を有する者等	人
利用者家族	9人	地域包括支援センター職員	人
地域住民の代表	2人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			人

【報告内容】

1. 現況、活動状況報告

利用者様状況

- ・女性 9名の方ご利用中
- ・介護度 ①・・・2名
②・・・3名
③・・・2名
④・・・1名
⑤・・・1名
- ・平均介護度 2.5
- ・利用者様年齢 70歳代・・・1名
80歳代・・・4名
90歳代・・・4名
- ・平均年齢 89.5歳
- ・新規入居者、退去者無し。
- ・入院、事故は無し。1名の方一過性の意識喪失で救急搬送されたが、点滴を受け戻られた。
- ・感染症予防について
職員・利用者ともマスク着用、手指消毒、3密回避、体調観察等これまでの予防対策を継続実施中。

面会について、密にならない対策を講じ実施できるよう準備中。(別紙で説明)

活動状況

- ・誕生日会、ひな祭り
- ・畑作り・・・さつま芋苗を植える
- ・季節のデコレーション作り(こいのぼりの壁画作り)
- ・朝のラジオ体操・食前口腔体操、散歩や外気浴、ペダル漕ぎ塗り絵、パズル、ドリル、日常的な家事作業(調理・洗濯・掃除)
- ・AED訓練
- ・勉強会「接遇」「看取りについて」

2、身体拘束等の適正化の取り組み

第1回 虐待防止・身体拘束廃止委員会報告

現状報告

- ・身体拘束を行っている事案はなし。
- ・センサーの電池交換のタイミングについて取り決め
- ・虐待の芽自己チェック実施

利用者とのかかわりや職員間でのコミュニケーションに関して、複数の職員が問題を感じていることが分かった。

今後は適切な言葉かけについての学習、情報共有の場を会議以外で持つ、確実な申し送りで情報の格差をなくすことをこれからの取り組みとする。

【寄せられたご意見】

12名の方に文書を送らせていただき、11名の方からお返事を頂いた。

<ご意見>

- ・見取りの勉強会は、利用者の方を実際に看取った後ということで、今後のサービス提供について、改めて考えを共有する場になったのだらうと思います。また、看取りに関する指針についてもこういった場で見直しができる、事業所の状況に適した内容に近づいていくのではないのでしょうか。
- ・虐待防止・身体拘束廃止委員会では、自己チェック、結果の分析、今後の取り組み方針についてしっかり検討されている様子がわかりました。引き続き、ミーティング等で職員間の連携をとりながら、安心して利用できるサービス提供をお願いします。
- ・活動状況欄に誕生会をされているとの事、デイサービスの際は誕生会の写真を頂いていました。出来ましたら同様に、何かの折にでも頂けたらと思います。
- ・午前中に1組でも面会できる体制を作って頂きたい。

以上